



# 目次

---

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
  - 本書の目的
  - 対象読者
  - 本書の構成
- 3. インポート・エクスポートの概要
  - インポート・エクスポート機能
  - インポート・エクスポートで扱う情報
  - インポート・エクスポート手順
- 4. ファイルフォーマット
  - リソースグループ
  - リソース
  - サブジェクトグループ
  - ポリシー
- 5. インポート
  - 更新モード
  - リソースグループ
  - リソース
  - サブジェクトグループ
  - ポリシー
- 6. エクスポート
  - リソースグループ
  - リソース
  - サブジェクトグループ
  - ポリシー
- 7. オプション
  - インポートオプション
  - エクスポートオプション
- 8. 実行方法
  - ジョブスケジューラを利用する
  - 認可設定画面を利用する
- 9. 付録
  - IM-Authz（認可）インポートデータ定義書

変更年月日	変更内容
2014-08-01	初版
2014-12-24	第2版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"><li>▪ 「<a href="#">IM-Authz（認可）インポートデータ定義書</a>」で、「XML（ポリシー）」シートのDBテーブル名が誤っていた箇所を修正（imaz_resource_group -&gt; imaz_policy）</li></ul>
2018-08-01	第3版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"><li>▪ 「<a href="#">リソースグループ</a>」の更新モード「<a href="#">replace</a>」の説明が誤っていたため修正</li></ul>
2019-08-01	第4版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"><li>▪ 「<a href="#">XMLのポリシー専用オプション</a>」のXMLのオプション「<a href="#">リソースグループ・リソース存在検証フラグ</a>」の説明を追加</li></ul>

## 本書の目的

---

本書ではIM-Authz（認可）情報のインポート・エクスポート機能の詳細について説明します。

説明範囲は以下のとおりです。

- IM-Authz（認可）情報のインポート・エクスポートの概要
- IM-Authz（認可）情報のインポート・エクスポートファイルのデータフォーマット
- IM-Authz（認可）情報のインポート・エクスポートの実行方法
- IM-Authz（認可）情報のインポート・エクスポートの実行オプション

## 対象読者

---

本書では次の利用者を対象としています。

- intra-mart Accel Platform のIM-Authz（認可）を管理する運用担当者
- IM-Authz（認可）情報のインポート・エクスポート機能を利用したアプリケーションを開発する開発者

## 本書の構成

---

- [インポート・エクスポートの概要](#)

IM-Authz（認可）のインポート・エクスポートの概要について説明します。

- [ファイルフォーマット](#)

インポートファイルのデータフォーマットについて説明します。

- [インポート](#)

インポートの処理について説明します。更新モードについても説明します。

- [エクスポート](#)

エクスポートの処理について説明します。

- [オプション](#)

インポート・エクスポート実行時に指定可能なオプションについて説明します。

- [実行方法](#)

インポート・エクスポート実行方法について説明します。

#### 項目

- インポート・エクスポート機能
- インポート・エクスポートで扱う情報
- インポート・エクスポート手順
  - リソースグループ
    - インポート
    - エクスポート
  - リソース
    - インポート
    - エクスポート
  - サブジェクトグループ
    - インポート
    - エクスポート
  - ポリシー - XML形式
    - インポート
    - エクスポート
  - ポリシー - Excel（xlsx）形式
    - インポート
    - エクスポート

## インポート・エクスポート機能

IM-Authz（認可）には、「リソース」「リソースグループ」「サブジェクトグループ」、および、「ポリシー」の4つのインポート・エクスポート機能があります。

対応しているフォーマットは「XML」形式と「Excel（xlsx）」形式の2つですが、取り扱うことができるデータの種類と更新モードが異なります。

それぞれ取り扱うことができるデータの種類の種類は、以下の通りです。

形式	データの種類の種類	更新モード	導入バージョン
XML	リソースグループ リソース サブジェクトグループ ポリシー	replace merge (ポリシーは指定不可)	2012 Autumn
Excel（xlsx）	ポリシー	(指定不可)	2014 Summer



#### 注意

Excel（xlsx）フォーマットの出力機能を使用するためには、IM-Jugglingで「追加機能」 - 「IM-Authz（認可）Excelインポート・エクスポート」モジュールを追加する必要があります。

## インポート・エクスポートで扱う情報

IM-Authz（認可）のインポート・エクスポートで扱う情報は、以下の通りです。

- リソースグループ
  - 表示名
  - 説明
  - 親リソースグループ
- リソース
  - 表示名
  - 説明
  - 親リソースグループ
- サブジェクトグループ
  - 表示名
  - 説明
  - サブジェクトグループの条件式
- ポリシー
  - 権限状態

各情報についての詳細は、「[ファイルフォーマット](#)」および「[認可仕様書 - 認可 概要](#)」を参照してください。

## インポート・エクスポート手順

---

### リソースグループ

---

#### インポート

リソースグループのインポートを行う手順は、以下の通りです。

1. インポートファイルをXML形式で作成します。  
フォーマットについては、「[ファイルフォーマット](#)」 - 「[リソースグループ](#)」 - 「[XML ファイル形式](#)」を参照してください。
2. インポートファイルを、パブリックストレージに配置します。
3. インポートファイルを、次のいずれかの方法でインポートします。
  - 「[ジョブスケジューラを利用する](#)」
    - 「[ジョブ](#)」 - 「[インポート](#)」 - 「[リソースグループ](#)」
    - 「[ジョブネット](#)」 - 「[インポート](#)」 - 「[リソースグループ](#)」

#### エクスポート

リソースグループのエクスポートを行う手順は、以下の通りです。

1. 次のいずれかの方法でエクスポートします。
  - 「[ジョブスケジューラを利用する](#)」
    - 「[ジョブ](#)」 - 「[エクスポート](#)」 - 「[リソースグループ](#)」

- 「[ジョブネット](#)」 - 「[エクスポート](#)」 - 「[リソースグループ](#)」
- 「[認可設定画面を利用する](#)」

2. パブリックストレージに、エクスポートファイルが出力されます。

## リソース

---

### インポート

リソースのインポートを行う手順は、以下の通りです。

1. インポートファイルをXML形式で作成します。  
フォーマットについては、「[ファイルフォーマット](#)」 - 「[リソース](#)」 - 「[XML ファイル形式](#)」を参照してください。
2. インポートファイルを、パブリックストレージに配置します。
3. インポートファイルを、次のいずれかの方法でインポートします。
  - 「[ジョブスケジューラを利用する](#)」
    - 「[ジョブ](#)」 - 「[インポート](#)」 - 「[リソース](#)」
    - 「[ジョブネット](#)」 - 「[インポート](#)」 - 「[リソース](#)」

### エクスポート

リソースのエクスポートを行う手順は、以下の通りです。

1. 次のいずれかの方法でエクスポートします。
  - 「[ジョブスケジューラを利用する](#)」
    - 「[ジョブ](#)」 - 「[エクスポート](#)」 - 「[リソース](#)」
    - 「[ジョブネット](#)」 - 「[エクスポート](#)」 - 「[リソース](#)」
  - 「[認可設定画面を利用する](#)」
2. パブリックストレージに、エクスポートファイルが出力されます。

## サブジェクトグループ

---

### インポート

サブジェクトグループのインポートを行う手順は、以下の通りです。

1. インポートファイルをXML形式で作成します。  
フォーマットについては、「[ファイルフォーマット](#)」 - 「[サブジェクトグループ](#)」 - 「[XML ファイル形式](#)」を参照してください。
2. インポートファイルを、パブリックストレージに配置します。
3. インポートファイルを、次のいずれかの方法でインポートします。
  - 「[ジョブスケジューラを利用する](#)」
    - 「[ジョブ](#)」 - 「[インポート](#)」 - 「[サブジェクトグループ](#)」

- 「[ジョブネット](#)」 - 「[インポート](#)」 - 「[サブジェクトグループ](#)」

## エクスポート

サブジェクトグループのエクスポートを行う手順は、以下の通りです。

1. 次のいずれかの方法でエクスポートします。

- 「[ジョブスケジューラ](#)を利用する」
  - 「[ジョブ](#)」 - 「[エクスポート](#)」 - 「[サブジェクトグループ](#)」
  - 「[ジョブネット](#)」 - 「[エクスポート](#)」 - 「[サブジェクトグループ](#)」
- 「[認可設定画面](#)を利用する」

2. パブリックストレージに、エクスポートファイルが出力されます。

## ポリシー - XML形式

---

### インポート

ポリシーのインポートを行う手順は、以下の通りです。

1. インポートファイルをXML形式で作成します。

フォーマットについては、「[ファイルフォーマット](#)」 - 「[ポリシー](#)」 - 「[XMLファイル形式](#)」を参照してください。

2. インポートファイルを、パブリックストレージに配置します。

3. インポートファイルを、次のいずれかの方法でインポートします。

- 「[ジョブスケジューラ](#)を利用する」
  - 「[ジョブ](#)」 - 「[インポート](#)」 - 「[ポリシー - XML形式](#)」
  - 「[ジョブネット](#)」 - 「[インポート](#)」 - 「[ポリシー - XML形式](#)」

### エクスポート

ポリシーのエクスポートを行う手順は、以下の通りです。

1. 次のいずれかの方法でエクスポートします。

- 「[ジョブスケジューラ](#)を利用する」
  - 「[ジョブ](#)」 - 「[エクスポート](#)」 - 「[ポリシー - XML形式](#)」
  - 「[ジョブネット](#)」 - 「[エクスポート](#)」 - 「[ポリシー - XML形式](#)」
- 「[認可設定画面](#)を利用する」

2. パブリックストレージに、エクスポートファイルが出力されます。

## ポリシー - Excel（xlsx）形式

---

### インポート

ポリシーのインポートを行う手順は、以下の通りです。



1. インポートファイルをExcel（xlsx）形式で作成します。  
フォーマットについては、「[ファイルフォーマット](#)」 - 「[ポリシー](#)」 - 「[Excel（xlsx）形式](#)」を参照してください。



#### コラム

一度エクスポートしたExcel（xlsx）形式のファイルをExcelなどの表計算ソフトで編集して、上書き保存したファイルをインポートすることを想定しています。

2. ジョブスケジューラを使用する場合のみ、インポートファイルを、パブリックストレージに配置します。
3. インポートファイルを、次のいずれかの方法でインポートします。
  - 「[ジョブスケジューラを利用する](#)」
    - 「[ジョブ](#)」 - 「[インポート](#)」 - 「[ポリシー - Excel（xlsx）形式](#)」
    - 「[ジョブネット](#)」 - 「[インポート](#)」 - 「[ポリシー - Excel（xlsx）形式](#)」
  - 「[認可設定画面を利用する](#)」

## エクスポート

ポリシーのエクスポートを行う手順は、以下の通りです。

1. 次のいずれかの方法でエクスポートします。
  - 「[ジョブスケジューラを利用する](#)」
    - 「[ジョブ](#)」 - 「[エクスポート](#)」 - 「[ポリシー - Excel（xlsx）形式](#)」
    - 「[ジョブネット](#)」 - 「[エクスポート](#)」 - 「[ポリシー - Excel（xlsx）形式](#)」
  - 「[認可設定画面を利用する](#)」
2. パブリックストレージに、エクスポートファイルが出力されます。  
認可設定画面でエクスポートを実行した場合は、認可設定画面から直接ダウンロードすることができます。

項目
<div><div>■ リソースグループ</div><div><div>■ XMLファイル形式</div></div></div>
<div><div>■ リソース</div><div><div>■ XMLファイル形式</div></div></div>
<div><div>■ サブジェクトグループ</div><div><div>■ XMLファイル形式</div></div></div>
<div><div>■ ポリシー</div><div><div>■ XMLファイル形式</div><div>■ Excel（xlsx）形式</div><div><div>■ 出力例</div><div>■ テンプレートファイルの仕様</div></div></div></div>

## リソースグループ

### XMLファイル形式

以下は、XMLファイルの例です。  
<authz-resource-group> タグで囲まれた 1 要素が 1 件のリソースグループに該当します。

XML schema の場所：  
%CONTEXT\_PATH%/WEB-INF/schema/authz-resource-group.xsd

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<root xmlns="http://www.intra-mart.jp/authz/imex/resource-group">
  <authz-resource-group id="im-authz-service">
    <display-name>
      <name locale="ja">認可</name>
      <name locale="en">Authz Maintenance</name>
    </display-name>
    <resource-group-description>
      <description locale="ja">認可設定画面関連の画面リソースです。</description>
    </resource-group-description>
    <parent-group id="http-services"/>
  </authz-resource-group>
</root>
```

各タグ・属性の説明は、以下の通りです。  
「IM-Authz（認可）インポートデータ定義書」も合わせて、参照してください。

項目	タグ名	説明
----	-----	----


項目	タグ名	説明				
リソースグループ	authz-resource-group	<p>1つのリソースグループを定義します。</p> <p>このタグに指定可能な属性は、以下の通りです。</p> <table><tr><th>属性</th><th>説明</th></tr><tr><td>id</td><td>リソースグループID</td></tr></table>	属性	説明	id	リソースグループID
属性	説明					
id	リソースグループID					
表示名	display-name	<p>リソースグループに設定する表示名を指定します。</p> <p>ロケールごとに指定可能です。</p>				
ロケールごとの表示名	name	<p>ロケール別に、リソースグループに設定する表示名を、256文字以内で指定します。</p> <p>このタグに指定可能な属性は、以下の通りです。</p> <table><tr><th>属性</th><th>説明</th></tr><tr><td>locale</td><td>ロケールID</td></tr></table>	属性	説明	locale	ロケールID
属性	説明					
locale	ロケールID					
説明	resource-group-description	<p>リソースグループに設定する説明を指定します。</p> <p>ロケールごとに設定可能です。</p>				
ロケールごとの説明	description	<p>ロケール別に、リソースグループに設定する説明を、1,000文字以内で指定します。</p> <p>このタグに指定可能な属性は、以下の通りです。</p> <table><tr><th>属性</th><th>説明</th></tr><tr><td>locale</td><td>ロケールID</td></tr></table>	属性	説明	locale	ロケールID
属性	説明					
locale	ロケールID					
親リソースグループ	parent-group	<p>このリソースグループの親になるリソースグループのIDを指定します。</p> <p>このタグに指定可能な属性は、以下の通りです。</p> <table><tr><th>属性</th><th>説明</th></tr><tr><td>id</td><td>リソースグループID</td></tr></table>	属性	説明	id	リソースグループID
属性	説明					
id	リソースグループID					

インポートしたリソースグループは、認可設定画面で確認できます。

Types of resource Screen / Process Types of action All actions Start the authorization setting

Resource	Action	Certification		Department		Role													
		Guest User	Authenticated User	Sample Company	Other Company	Tenant Manager	Authz Setting Manager	Menu Manager	Menu Operator	Account Manager	Role Manager	Calendar Manager	Job Scheduler Manager	IM-Common Master Manager	IM-Common Master Operator	Portal Manager	IMBox Manager	IMB Operator Manager	
Screen and Processing	Execute																		
intra-mart Accel Platform	Execute																		
welcome-all Mapper	Execute																		
IM-ContentsSearch	Execute																		
Full-text Search	Execute																		
Authz Maintenance	Execute																		
Authz setting (Basic Screen)	Execute																		
Authz setting (Parts)	Execute																		
Authz setting (Ajax)	Execute																		
Calendar	Execute																		
Calendar List	Execute																		
Calendar Merge	Execute																		
Calendar Tag (Ajax)	Execute																		
FileExchange	Execute																		
FileExchange Manager	Execute																		
UploadFile Maintenance	Execute																		
FileExchange User	Execute																		

図「XMLファイルの例」をインポートした時の認可設定画面

 注意

リソースグループ配下に、1つ以上のリソースが登録されている場合のみ表示されます。

リソース

XMLファイル形式

以下は、XMLファイルの例です。  
<authz-resource> タグで囲まれた1要素が1件のリソースに該当します。

XML schema の場所：  
%CONTEXT\_PATH%/WEB-INF/schema/authz-resource.xsd

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<root xmlns="http://www.intra-mart.jp/authz/imex/resource">
  <authz-resource uri="service://authz/settings/basic" id="im-authz-settings-basic-service">
    <display-name>
      <name locale="ja">認可設定（基本画面）</name>
      <name locale="en">Authz setting (Basic Screen)</name>
    </display-name>
    <resource-description>
      <description locale="ja">認可設定画面の画面リソースです。</description>
    </resource-description>
    <parent-group id="im-authz-service"/>
  </authz-resource>
  <authz-resource uri="service://authz/settings/parts" id="im-authz-settings-parts-service">
    <display-name>
      <name locale="ja">認可設定（ポップアップ）</name>
      <name locale="en">Authz setting (Parts)</name>
    </display-name>
    <resource-description>
      <description locale="ja">ポップアップで表示される認可設定画面の画面リソースです。</description>
    </resource-description>
    <parent-group id="im-authz-service"/>
  </authz-resource>
  <authz-resource uri="service://authz/settings/procedure" id="im-authz-settings-procedure-service">
    <display-name>
      <name locale="ja">認可設定（Ajax用）</name>
      <name locale="en">Authz setting (Ajax)</name>
    </display-name>
    <resource-description>
      <description locale="ja">認可設定画面で使用する処理リソースです。</description>
    </resource-description>
    <parent-group id="im-authz-service"/>
  </authz-resource>
</root>
```

各タグ・属性の説明は、以下の通りです。  
「[IM-Authz（認可）インポートデータ定義書](#)」も合わせて、参照してください。

項目	タグ名	説明			
リソース	authz-resource	1つのリソースを定義します。			
		このタグに指定可能な属性は、以下の通りです。			
		属性	説明	uri	リソースの識別子であるURIを指定します。
属性	説明				
uri	リソースの識別子であるURIを指定します。				
id	リソースとセットで登録されるリソースグループのIDを指定します。 省略した場合は、uri 属性の設定値をもとに、自動的に作成されます。				

項目	タグ名	説明				
表示名	display-name	リソースとセットで登録されるリソースグループに設定する表示名を、256文字以内で指定します。 ロケールごとに設定可能です。				
ロケールごとの表示名	name	ロケール別に、リソースとセットで登録されるリソースグループに設定する表示名を指定します。  このタグに指定可能な属性は、以下の通りです。 <table><tr><th>属性</th><th>説明</th></tr><tr><td>locale</td><td>ロケールID</td></tr></table>	属性	説明	locale	ロケールID
属性	説明					
locale	ロケールID					
説明	resource-description	リソースとセットで登録されるリソースグループに設定する説明を、1,000文字以内で指定します。 ロケールごとに指定可能です。				
ロケールごとの説明	description	ロケール別に、リソースとセットで登録されるリソースグループに設定する説明を指定します。  このタグに指定可能な属性は、以下の通りです。 <table><tr><th>属性</th><th>説明</th></tr><tr><td>locale</td><td>ロケールID</td></tr></table>	属性	説明	locale	ロケールID
属性	説明					
locale	ロケールID					
親リソースグループ	parent-group	このリソースとセットで登録されるリソースグループの親になるリソースグループです。 このリソースがインポートされる時点で、親になるリソースグループが登録されている必要があります。  このタグに指定可能な属性は、以下の通りです。 <table><tr><th>属性</th><th>説明</th></tr><tr><td>id</td><td>リソースグループID</td></tr></table>	属性	説明	id	リソースグループID
属性	説明					
id	リソースグループID					

インポートしたリソースは、認可設定画面で確認できます。

Types of resource		Screen / Process	Types of action		All actions	Start the authorization setting														
Resource	Action	Certification		Department		Role														
		Guest User	Authenticated User	Sample Company	Other Company	Tenant Manager	Authz Setting Manager	Menu Manager	Menu Operator	Account Manager	Role Manager	Calendar Manager	Job Scheduler Manager	IM-Common Master Manager	IM-Common Master Operator	Portal Manager	IMBox Manager	IMB Operator Manager		
Screen and Processing	Execute																			
intra-mart Accel Platform	Execute																			
welcome-all Mapper	Execute																			
IM-ContentsSearch	Execute																			
Full-text Search	Execute																			
Authz Maintenance	Execute																			
Authz setting (Basic Screen)	Execute																			
Authz setting (Parts)	Execute																			
Authz setting (Ajax)	Execute																			
Calendar	Execute																			
Calendar List	Execute																			
Calendar Merge	Execute																			
Calendar Tag (Ajax)	Execute																			
FileExchange	Execute																			
FileExchange Manager	Execute																			
UploadFile Maintenance	Execute																			
FileExchange User	Execute																			

図「XMLファイルの例」をインポートした時の認可設定画面

## サブジェクトグループ

### XMLファイル形式

以下は、XMLファイルの例です。

`<authz-subject-group>` タグで囲まれた 1 要素が 1 件のサブジェクトグループに該当します。

XML schema の場所：

`%CONTEXT_PATH%/WEB-INF/schema/authz-subject-group.xsd`

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<root xmlns="http://www.intra-mart.jp/authz/imex/subject-group">
  <authz-subject-group sort-key="1">
    <display-name>
      <name locale="ja">ゲストユーザ</name>
      <name locale="en">Guest User</name>
    </display-name>
    <subject-group-description>
      <description locale="ja">ゲストユーザです</description>
    </subject-group-description>
    <expression>S(im_authz_meta_subject:anonymous)</expression>
  </authz-subject-group>
  <authz-subject-group sort-key="2">
    <display-name>
      <name locale="ja">認証済みユーザ</name>
      <name locale="en">Authenticated User</name>
    </display-name>
    <subject-group-description>
      <description locale="ja">認証済みユーザです</description>
    </subject-group-description>
    <expression>S(im_authz_meta_subject:authenticated)</expression>
  </authz-subject-group>
  <authz-subject-group sort-key="1">
    <display-name>
      <name locale="ja">認可 管理者</name>
      <name locale="en">Authz Setting Manager</name>
    </display-name>
    <subject-group-description>
      <description locale="ja">認可管理者です</description>
    </subject-group-description>
    <expression>S(b_m_role:authz_manager)</expression>
  </authz-subject-group>
</root>
```

各タグ・属性の説明は、以下の通りです。  
「IM-Authz（認可）インポートデータ定義書」も合わせて、参照してください。

項目	タグ名	説明				
サブジェクトグループ	authz-subject-group	1つのサブジェクトグループを定義します。				
		このタグに指定可能な属性は、以下の通りです。				
		<table><tr><th>属性</th><th>説明</th></tr><tr><td>sort-key</td><td>サブジェクトグループカテゴリ内でのソート番号。</td></tr></table>	属性	説明	sort-key	サブジェクトグループカテゴリ内でのソート番号。
		属性	説明			
sort-key	サブジェクトグループカテゴリ内でのソート番号。					
表示名	display-name	サブジェクトグループに設定する表示名を指定します。 ロケールごとに指定可能です。				



項目	タグ名	説明				
ロケールごとの表示名	name	<p>ロケール別に、サブジェクトグループに設定する表示名を、64文字以内で指定します。</p> <p>このタグに指定可能な属性は、以下の通りです。</p> <table><tr><th>属性</th><th>説明</th></tr><tr><td>locale</td><td>ロケールID</td></tr></table>	属性	説明	locale	ロケールID
属性	説明					
locale	ロケールID					
説明	subject-group-description	<p>サブジェクトグループに設定する説明を指定します。ロケールごとに指定可能です。</p>				
ロケールごとの説明	description	<p>ロケール別に、サブジェクトグループに設定する説明を、1,000文字以内で指定します。</p> <p>このタグに指定可能な属性は、以下の通りです。</p> <table><tr><th>属性</th><th>説明</th></tr><tr><td>locale</td><td>ロケールID</td></tr></table>	属性	説明	locale	ロケールID
属性	説明					
locale	ロケールID					
条件式	expression	<p>サブジェクトグループの条件式を、半角4,000文字以内で指定します。</p> <p>条件式の詳細は、「<a href="#">認可仕様書 - サブジェクト管理 - 式表現</a>」を参照してください。</p>				



## コラム

サブジェクトグループカテゴリは、インポートしたサブジェクトグループの条件式によって、インポート時に自動的に作成されます。

インポートしたサブジェクトグループは、認可設定画面で確認できます。

Types of resource		Screen / Process		Types of action		All actions		Start the authorization setting										
Resource	Action	Certification		Department		Role												
		Guest User	Authenticated User	Sample Company	Other Company	Tenant Manager	Authz Setting Manager	Menu Manager	Menu Operator	Account Manager	Role Manager	Calendar Manager	Job Scheduler Manager	IM-Common Master Manager	IM-Common Master Operator	Portal Manager	IMBox Manager	IMBox Operator
Screen and Processing	Execute																	
intra-mart Accel Platform	Execute																	
welcome-all Mapper	Execute																	
IM-ContentsSearch	Execute																	
Full-text Search	Execute																	
Authz Maintenance	Execute																	
Authz setting (Basic Screen)	Execute																	
Authz setting (Parts)	Execute																	
Authz setting (Ajax)	Execute																	
Calendar	Execute																	
Calendar List	Execute																	
Calendar Merge	Execute																	
Calendar Tag (Ajax)	Execute																	
FileExchange	Execute																	
FileExchange Manager	Execute																	
UploadFile Maintenance	Execute																	
FileExchange User	Execute																	

## ポリシー

### XMLファイル形式

以下は、XMLファイルの例です。

`<authz-policy>` タグで囲まれた 1 要素が 1 件のポリシーに該当します。

XML schema の場所：

`%CONTEXT_PATH%/WEB-INF/schema/authz-policy.xsd`

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<root xmlns="http://www.intra-mart.jp/authz/imex/policy">
  <authz-policy subject="S(b_m_role:tenant_manager)" action="execute" type="service" resource="im-authz-settings-basic-service">PERMIT</authz-policy>
  <authz-policy subject="S(b_m_role:authz_manager)" action="execute" type="service" resource="im-authz-settings-basic-service">PERMIT</authz-policy>
  <authz-policy subject="S(b_m_role:tenant_manager)" action="execute" type="service" resource="im-authz-settings-parts-service">PERMIT</authz-policy>
  <authz-policy subject="S(b_m_role:authz_manager)" action="execute" type="service" resource="im-authz-settings-parts-service">PERMIT</authz-policy>
  <authz-policy subject="S(b_m_role:menu_manager)" action="execute" type="service" resource="im-authz-settings-parts-service">PERMIT</authz-policy>
  <authz-policy subject="S(b_m_role:menu_operator)" action="execute" type="service" resource="im-authz-settings-parts-service">PERMIT</authz-policy>
  <authz-policy subject="S(b_m_role:tenant_manager)" action="execute" type="service" resource="im-authz-settings-procedure-service">PERMIT</authz-policy>
  <authz-policy subject="S(b_m_role:authz_manager)" action="execute" type="service" resource="im-authz-settings-procedure-service">PERMIT</authz-policy>
  <authz-policy subject="S(b_m_role:menu_manager)" action="execute" type="service" resource="im-authz-settings-procedure-service">PERMIT</authz-policy>
  <authz-policy subject="S(b_m_role:menu_operator)" action="execute" type="service" resource="im-authz-settings-procedure-service">PERMIT</authz-policy>
</root>
```

`<authz-policy>` では「許可」「禁止」の権限設定状態（エフェクト）を管理します。

各タグ・属性の説明は、以下の通りです。

「[IM-Authz（認可）インポートデータ定義書](#)」も合わせて、参照してください。

項目	タグ名	説明
----	-----	----

項目	タグ名	説明
ポリシー	authz-policy	1つのポリシーを定義します。 タグ内にはエフェクトを指定します。以下の文字列からいずれかを指定してください。

値	説明
PERMIT	「許可」を設定します。
DENY	「禁止」を設定します。
UNSET	「未設定」（設定を解除し、上位リソースの設定を継承します）。

このタグに指定可能な属性は、以下の通りです。

属性	説明
subject	エフェクトを設定するサブジェクトグループの条件式を、半角4,000文字以内で指定します。 条件式の詳細は、「 <a href="#">認可仕様書 - サブジェクト管理 - 式表現</a> 」を参照してください。
resource	エフェクトを設定するリソースグループのIDを指定します。
type	エフェクトを設定するアクションが定義されているリソースタイプのIDを指定します。
action	エフェクトを設定するアクションのIDを指定します。

インポートしたポリシーは、認可設定画面で確認できます。

Types of resource		Screen / Process	Types of action		All actions	Start the authorization setting														
Resource	Action	Certification		Department		Role														
		Guest User	Authenticated User	Sample Company	Other Company	Tenant Manager	Authz Setting Manager	Menu Manager	Menu Operator	Account Manager	Role Manager	Calendar Manager	Job Scheduler Manager	IM-Common Master Manager	IM-Common Master Operator	Portal Manager	IMBox Manager	IMBox Operator		
Screen and Processing	Execute	>																		
intra-mart Accel Platform	Execute	>																		
welcome-all Mapper	Execute	>																		
IM-ContentsSearch	Execute	>																		
Full-text Search	Execute	>																		
Authz Maintenance	Execute	>																		
Authz setting (Basic Screen)	Execute	>																		
Authz setting (Parts)	Execute	>																		
Authz setting (Ajax)	Execute	>																		
Calendar	Execute	>																		
Calendar List	Execute	>																		
Calendar Merge	Execute	>																		
Calendar Tag (Ajax)	Execute	>																		
FileExchange	Execute	>																		
FileExchange Manager	Execute	>																		
UploadFile Maintenance	Execute	>																		
FileExchange User	Execute	>																		

図「XMLファイルの例」をインポートした時の認可設定画面



図中の番号

号	項目	説明										
3	ポリシーのマトリクス	<p>リソースグループ・リソース・サブジェクトグループの組み合わせに対して設定するエフェクトを定義します。</p> <p>定義方法は使用するテンプレートによって異なります。intra-mart Accel Platform で用意されているデフォルトのテンプレートを使用した場合の定義は、以下の通りです。</p> <table><tr><th>設定値</th><th>説明</th></tr><tr><td>レ</td><td>許可</td></tr><tr><td>×</td><td>禁止</td></tr><tr><td>↑レ</td><td>未設定（親リソースを継承した結果、許可）</td></tr><tr><td>↑×</td><td>未設定（親リソースを継承した結果、禁止）</td></tr></table> <p>ポリシーのマトリクスでは、各セルに指定された文字列で内容を判断しますので、背景色・文字色などの装飾は影響しません。</p>	設定値	説明	レ	許可	×	禁止	↑レ	未設定（親リソースを継承した結果、許可）	↑×	未設定（親リソースを継承した結果、禁止）
設定値	説明											
レ	許可											
×	禁止											
↑レ	未設定（親リソースを継承した結果、許可）											
↑×	未設定（親リソースを継承した結果、禁止）											
4	リソースの種類（シート別）	リソースの種類にシートを分けて定義します。										



#### 注意

Excel (xlsx) 形式では、リソースグループ・リソース・サブジェクトグループを特定するために、隠しセルにIDなどのキー値を保存しています。

したがって、インポート用のファイルとして用意するためには、あらかじめエクスポート機能を使用してテンプレートから出力しておいたファイルを使用する必要があります。

また、行（リソースグループ）・列（サブジェクトグループ）を手動で増減させた場合、増やした分のデータIDや親子関係が特定できなくなるため、インポートに失敗します。

※エクスポート直後のファイルは、行・列を操作できなくするために、保護がかけられています。

## テンプレートファイルの仕様

intra-mart Accel Platform で用意されているデフォルトのテンプレートには、認可設定画面の権限設定マトリクスと同じようなデザインで出力するための定義が行われています。

テンプレートファイルは、パブリックストレージの以下の場所に保存されています。

`%PUBLIC_STORAGE%/products/im_authz_xlsx_import_export/authz_template.xlsx`

テンプレートファイルの一部は、デザインの変更を目的として、定義を編集できます。

変更できる箇所とその説明は、以下の通りです。

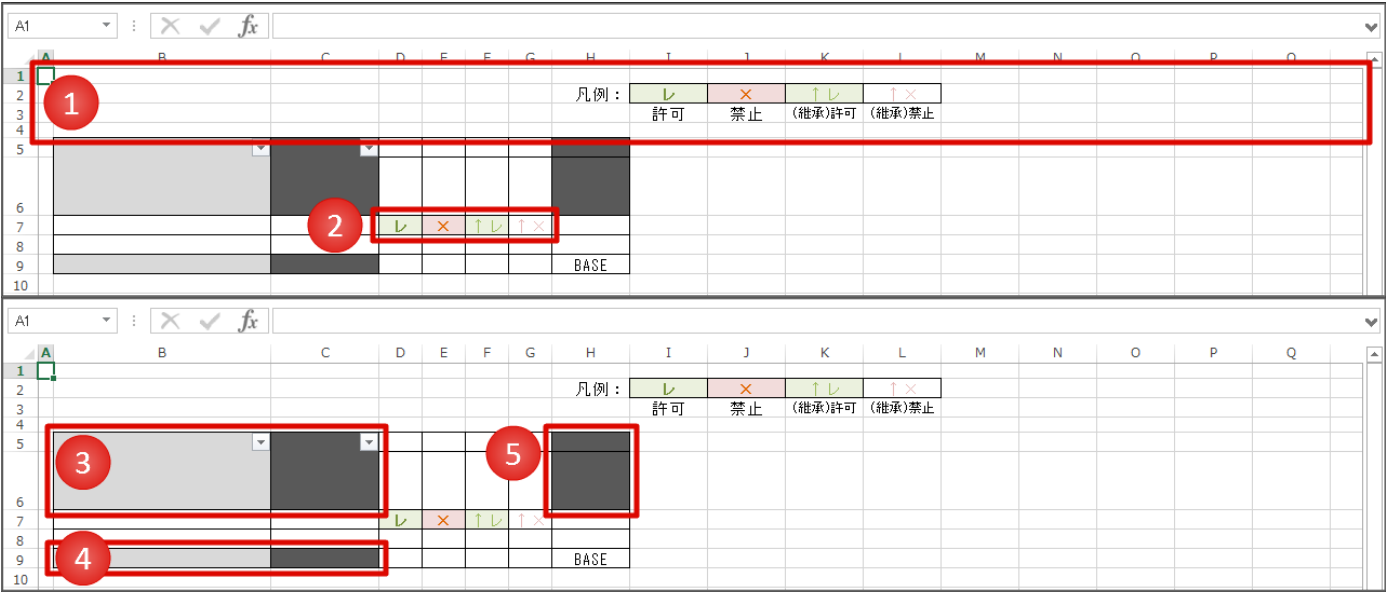


図 Excel (xlsx) のテンプレートファイル

図中の番号	項目	説明
1	ヘッダ領域	<p>出力するExcel (xlsx) 形式のヘッダ部を定義します。</p> <p>例えば、会社名などの簡単な情報をあらかじめ配置できます。</p> <p>出力日など、エクスポートの状況によって出力内容が変わる可変項目には対応していません。</p> <p>エクスポート時、D～G列目は自動的に非表示に変わりますので、何も入力しないでください。</p> <p>また、最後に文字列が設定されているセルから、右方向に連続して11以上の空きセルがある場合、それ以降右側に定義されたセルは出力されませんので注意してください。</p> <p>intra-mart Accel Platform で用意されているデフォルトのテンプレートには、凡例が定義されています。</p>
2	エフェクトを表すセル	<p>左から「許可」「禁止」「未設定（継承した結果、許可）」「未設定（継承した結果、禁止）」の4つのセルを定義します。</p> <p>ポリシーのマトリクスを出力する際、このセルの中から状態が一致するものがコピーされますので、このセルの背景色・文字色・文字列を変更すると、エクスポート時のマトリクスでエフェクトの表現方法を変更できます。</p> <p>ヘッダ部の凡例とは独立していますので注意してください。</p>
3	権限表の左上ヘッダ	<p>「リソース」と「アクション」となる部分です。</p> <p>背景色と文字色を変更できます。</p> <p>文字列は自動的に設定されますので、何も入力しないでください。</p>
4	権限表のリソース・アクション	<p>リソースグループとアクションの名称を表示するセルのデザインを定義します。</p> <p>背景色と文字色を変更できます。</p> <p>文字列は自動的に設定されますので、何も入力しないでください。</p>

図中の番

号	項目	説明
5	権限表のサブジェクトグループ・サブジェクトグループカテゴリ	<p>サブジェクトグループとサブジェクトグループカテゴリの名称を表示するセルのデザインを定義します。</p> <p>背景色と文字色を変更できます。</p> <p>文字列は自動的に設定されますので、何も入力しないでください。</p>



注意

上記以外の場所を変更しないでください。変更した場合、エクスポートに失敗する可能性があります。

装飾については、文字色・背景色・文字サイズの設定のみコピーされます。その他の装飾（条件付書式、グループ化など）は反映されません。

#### 項目

- 更新モード
  - merge
  - replace
- リソースグループ
  - XML
  - 更新モード
    - merge
    - replace
  - インポートの依存関係
- リソース
  - XML
  - 更新モード
    - merge
    - replace
  - インポートの依存関係
- サブジェクトグループ
  - XML
  - 更新モード
    - merge
    - replace
  - インポートの依存関係
- ポリシー
  - XML
  - Excel (xlsx)
  - 更新モード
  - インポートの依存関係
  - ポリシーの置換インポート

## 更新モード

---

更新モードを使用することで、インポートの目的にあわせたデータの更新を行うことができます。  
更新モードには、「merge」、および、「replace」が提供されています。

XML形式の場合、ポリシーを除いて、`update-mode` 属性を指定することでモードを設定します。  
Excel (xlsx) 形式の場合、更新モードの指定はありません。

### merge

---

インポートファイルのデータとデータベース上のデータをマージして更新します。  
インポートファイルに存在しない項目は既存のデータをそのまま設定します。



インポートファイルのデータに存在しない情報は未設定の値（デフォルト値）で更新します。  
インポートファイルに存在しない項目は値無しとして設定されます。

## リソースグループ

### XML

XML形式では、`<authz-resource-group>` タグを1レコードとしてインポートします。  
ファイルのフォーマットについては「[XMLファイル形式](#)」を参照してください。

インポート時の動作をオプションとして指定が可能です。  
インポート時に利用可能なオプションについては、「[XMLのオプション](#)」を参照してください。

### 更新モード

リソースグループの更新モードには「[merge](#)」、「[replace](#)」が提供されています。  
`update-mode` 属性は、`<authz-resource-group>` タグに指定します。  
特に指定していない場合、「merge」モードで動作します。

#### merge

未登録ロケールの表示名、または、説明を追加する場合に使用します。  
更新対象のリソースグループ配下に子のリソースグループが登録されていた場合、子のリソースグループには影響しません。

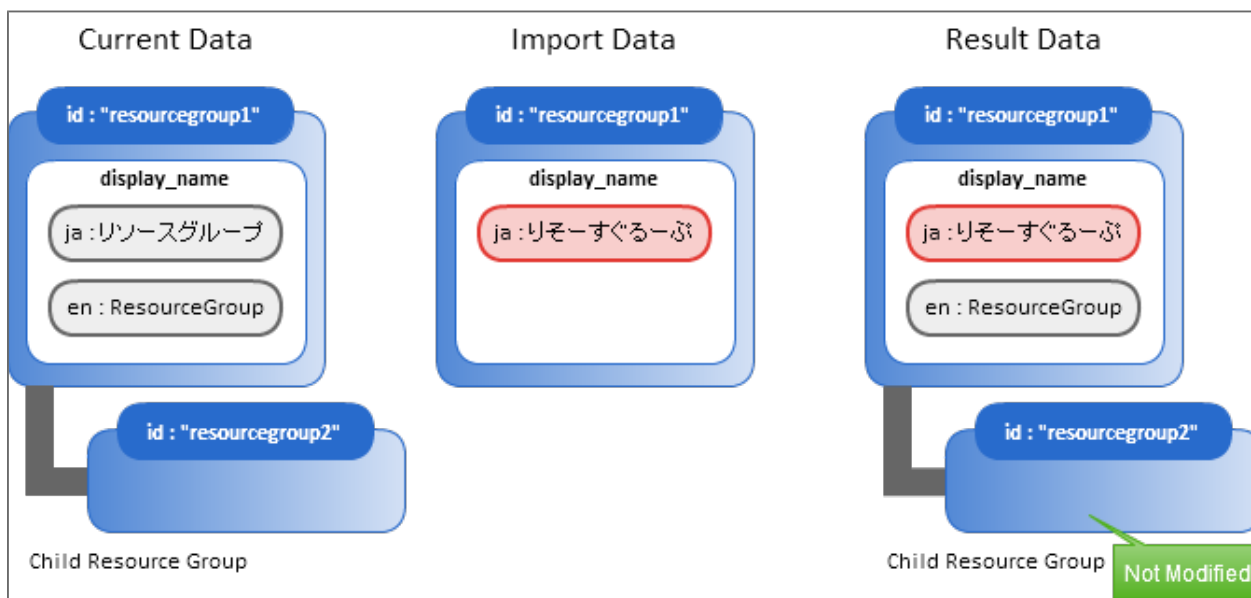


図 mergeモードによるインポート結果のイメージ

#### replace

既存の表示名、または、説明を削除して、新たに登録する場合に使用します。  
更新対象のリソースグループ配下に子のリソースグループが登録されていた場合、子のリソースグループはすべて削除されます。

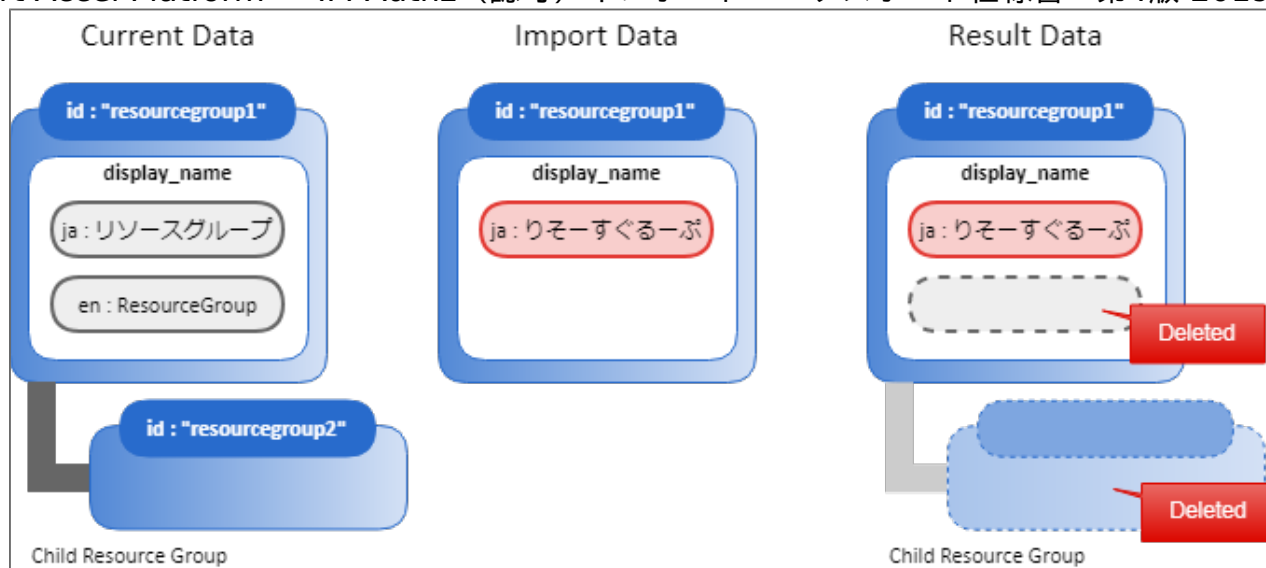


図 replaceモードによるインポート結果のイメージ

## インポートの依存関係

リソースグループをインポートする際、指定した親となるリソースグループをあらかじめ登録してください。同じインポートファイル内で親子を定義する場合は、親を子よりもファイルの先頭側に定義してください。親となるリソースグループが登録されていない場合、エラー `E.IWP.AUTHZ.IMPORT.10010` が発生します。

## リソース

### XML

XML形式では、`<authz-resource>` タグを 1 レコードとしてインポートします。ファイルのフォーマットについては「[XML ファイル形式](#)」を参照してください。

インポート時の動作をオプションとして指定が可能です。インポート時に利用可能なオプションについては、「[XML のオプション](#)」を参照してください。



#### 注意

`<authz-resource>` タグの `id` 属性に指定されたIDがキーとなり更新処理が行われますが、`id` 属性が指定されなかった場合は `uri` 属性に指定されたURIをもとに、URIで一意になるIDが自動的に作成され、IDとして使用されます。

IDと同様に、URIもテナント内で一意になるように指定する必要があります。

## 更新モード

リソースの更新モードには「[merge](#)」、「[replace](#)」が提供されています。`update-mode` 属性は、`<authz-resource>` タグに指定します。特に指定していない場合、「merge」モードで動作します。

### merge

未登録ロケールの表示名、または、説明を追加する場合に使用します。

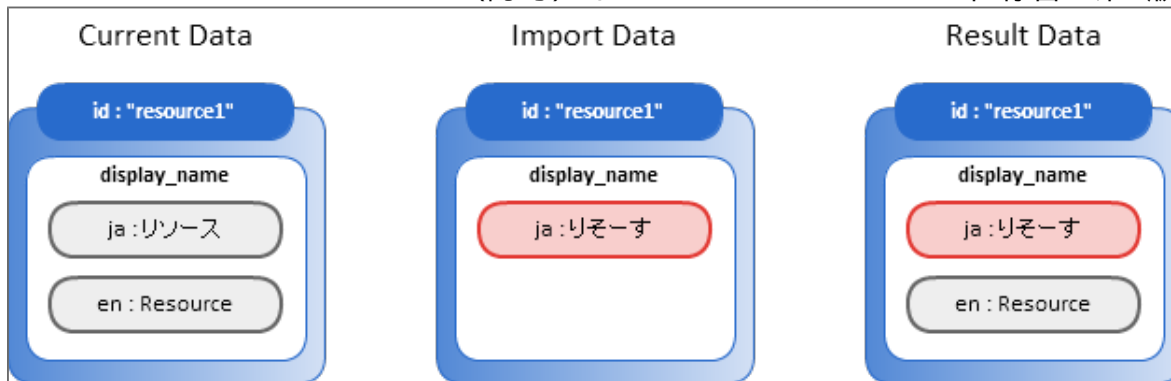


図 mergeモードによるインポート結果のイメージ

## replace

既存の表示名、または、説明を削除して、新たに登録する場合に使用します。

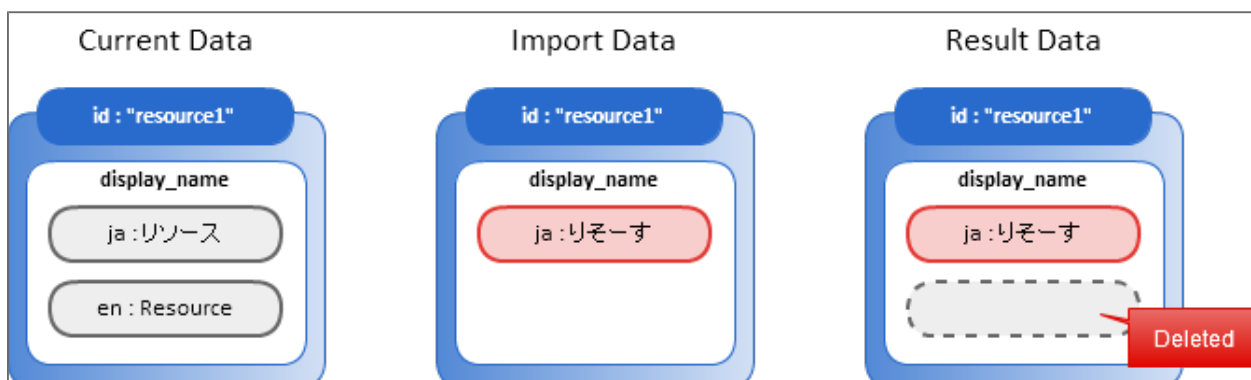


図 replaceモードによるインポート結果のイメージ

## インポートの依存関係

リソースをインポートする際、指定した親となるリソースグループをあらかじめ登録する必要があります。同じインポートファイル内で親子を定義する場合は、親を子よりもファイルの先頭側に定義してください。親となるリソースグループが登録されていない場合、エラー `E.IWP.AUTHZ.IMPORT.10007` が発生します。

## サブジェクトグループ

### XML

XML形式では、`<authz-subject-group>` タグを1レコードとしてインポートします。ファイルのフォーマットについては「[XML ファイル形式](#)」を参照してください。

インポート時の動作をオプションとして指定が可能です。インポート時に利用可能なオプションについては、「[XML のオプション](#)」を参照してください。

### 更新モード

サブジェクトグループの更新モードには「[merge](#)」、「[replace](#)」が提供されています。`update-mode` 属性は、`<authz-subject-group>` タグに指定します。特に指定していない場合、「merge」モードで動作します。

未登録ロケールの表示名、または、説明を追加する場合に使用します。

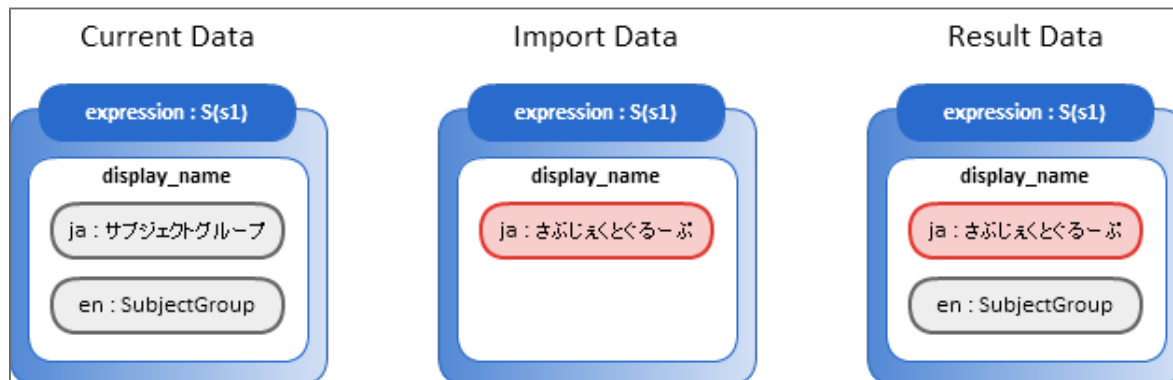


図 mergeモードによるインポート結果のイメージ

## replace

既存の表示名、または、説明を削除して、新たに登録する場合に使用します。

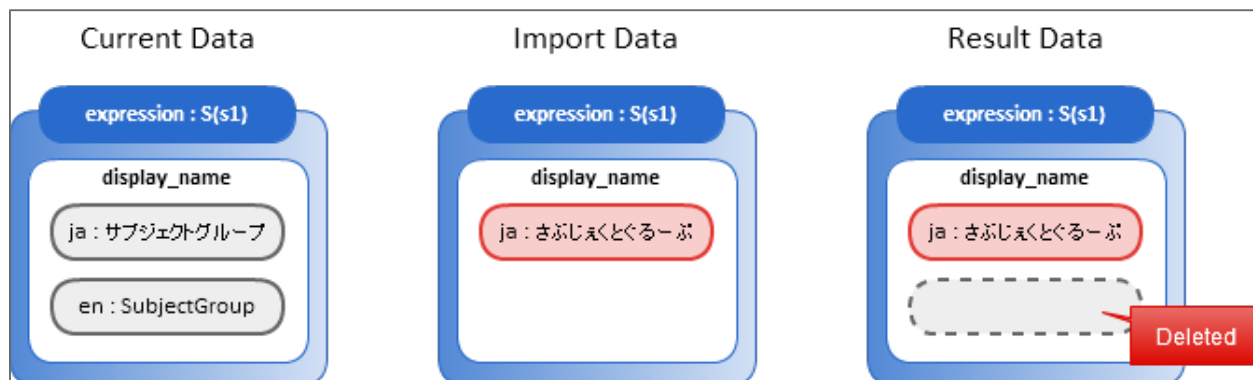


図 replaceモードによるインポート結果のイメージ

## インポートの依存関係

サブジェクトグループをインポートする際、特に依存するデータはありませんが、サブジェクトの条件式に指定する対象者データをあらかじめ登録しておくことをお勧めします。

例えば、`S(b_m_role:tenant_manager)` を条件式に指定する場合、あらかじめ「tenant\_manager」のIDでロールを作成してください。

## ポリシー

### XML

XML形式では、`<authz-policy>` タグを1レコードとしてインポートします。  
ファイルのフォーマットについては「[XML ファイル形式](#)」を参照してください。

インポート時の動作をオプションとして指定が可能です。  
インポート時に利用可能なオプションについては、「[XML のオプション](#)」を参照してください。

### Excel (xlsx)

Excel (xlsx) 形式では、シート上のポリシー部分（下図の赤枠部分）の1セルを1レコードとしてインポートします。

インポート時は、左上のセルを開始点として右方向へ走査し、順次下方向へ進みインポートが行われます。

ファイルのフォーマットについては「[Excel \(xlsx\) 形式](#)」を参照してください。

図 Excel (xlsx) 形式で出力したファイルのポリシー部分

インポート時の動作をオプションとして指定が可能です。

インポート時に利用可能なオプションについては、「[Excel \(xlsx\) のオプション](#)」を参照してください。

intra-mart Accel Platform で用意されているデフォルトのテンプレートを使用した場合、ポリシー部分に指定可能な文字列は、以下の通りです。

また、「[未設定認可ポリシー検証フラグ](#)」の設定値によってチェック内容が変わります。

設定値	説明	「 <a href="#">未設定認可ポリシー検証フラグ</a> 」 = true	「 <a href="#">未設定認可ポリシー検証フラグ</a> 」 = false
レ	許可	「許可」として更新します。	「許可」として更新します。
×	禁止	「禁止」として更新します。	「禁止」として更新します。
↑レ	未設定（親リソースを継承した結果、許可）	継承結果が「許可」以外の場合、エラー E.IWP.AUTHZ.XLSX.21012 が発生します。	継承結果にかかわらず、「未設定」として更新します。
↑×	未設定（親リソースを継承した結果、禁止）	継承結果が「禁止」以外の場合、エラー E.IWP.AUTHZ.XLSX.21013 が発生します。	継承結果にかかわらず、「未設定」として更新します。

設定値	説明	「未設定認可ポリシー検証フラグ」 = <b>true</b>	「未設定認可ポリシー検証フラグ」 = <b>false</b>
		必ずエラー E.IWP.AUTHZ.XLSX.21014 が発生 します。	更新しません。
上記以外	不明な指定		

更新モード

ポリシーの場合、更新モード指定はできず、常にインポートデータで上書きされます。  
リソースグループ・リソース・サブジェクトグループのインポートとは異なり、エフェクトに「未設定」が定義されている場合は、該当するポリシーが削除されます。  
ただし、インポートデータに含まれないキーのポリシーには影響しません。

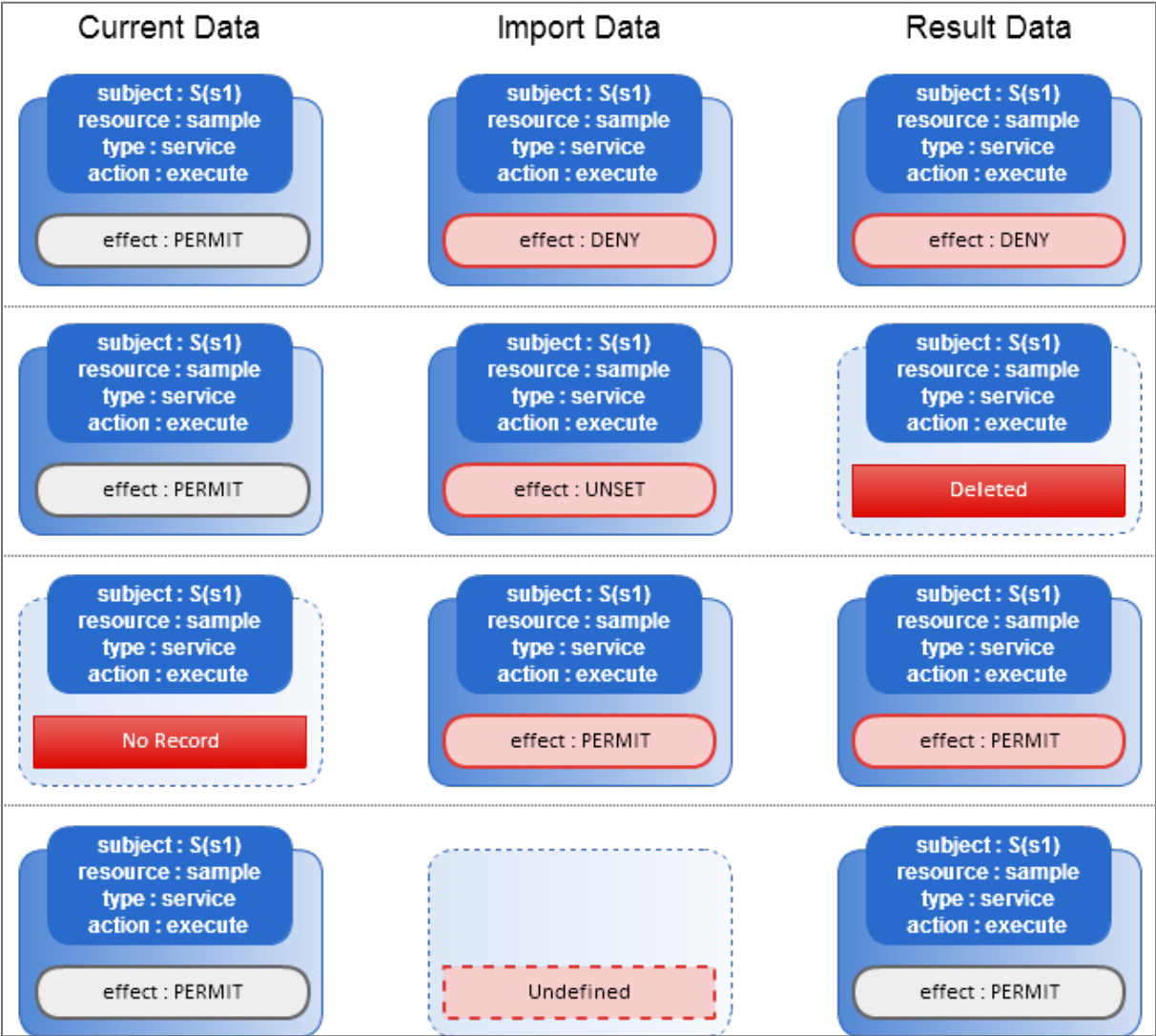


図 インポート結果のイメージ

インポートの依存関係

ポリシーをインポートする際、エフェクトの設定対象となるリソースグループ、リソースをあらかじめ登録する必要があります。  
また、存在しないリソースタイプID、アクションIDを指定することはできません。

エフェクトの設定対象となるリソースグループ、または、リソースが登録されていない場合の動作は以下のとおりです。

ファイル形式	動作
XML形式	エラー <code>E.IWP.AUTHZ.IMPORT.10001</code> が発生します。
Excel (xlsx) 形式	エラー <code>E.IWP.AUTHZ.XLSX.21006</code> が発生します。 「 <a href="#">リソースグループ・リソース存在検証フラグ</a> 」に <code>false</code> を設定している場合は、無視します。

エフェクトの設定対象となるリソースタイプIDが存在しない場合の動作は以下のとおりです。

ファイル形式	動作
XML形式	エラー <code>E.IWP.AUTHZ.IMPORT.10002</code> が発生します。
Excel (xlsx) 形式	エラー <code>E.IWP.AUTHZ.XLSX.21008</code> が発生します。 「 <a href="#">リソースグループ・リソース存在検証フラグ</a> 」に <code>false</code> を設定している場合は、無視します。

エフェクトの設定対象となるアクションIDが存在しない場合の動作は以下のとおりです。

ファイル形式	動作
XML形式	システムエラーが発生します。
Excel (xlsx) 形式	エラー <code>E.IWP.AUTHZ.XLSX.21009</code> が発生します。 「 <a href="#">リソースグループ・リソース存在検証フラグ</a> 」に <code>false</code> を設定している場合は、無視します。

エフェクトの設定対象となるサブジェクトグループが登録されていない場合の動作は以下のとおりです。

ファイル形式	動作
XML形式	指定されている条件式でサブジェクトグループが作成されますが、名称が設定されません。
Excel (xlsx) 形式	エラー <code>E.IWP.AUTHZ.XLSX.21010</code> 、または、 <code>E.IWP.AUTHZ.XLSX.21011</code> が発生します。 「 <a href="#">サブジェクトグループ存在検証フラグ</a> 」に <code>false</code> を設定している場合は、無視します。

## ポリシーの置換インポート

XML形式を使用してインポートする場合、明示的に「未設定」をエフェクトに指定した場合に限り、ポリシーの削除処理を行います。

そのため、「未設定」のエフェクトを指定していないXML形式のファイルを使用してシステム全体のポリシーを完全に置き換えるために、「認可（ポリシー）置換インポート」ジョブネットを使用できます。

項目

- リソースグループ
  - XML
- リソース
  - XML
- サブジェクトグループ
  - XML
- ポリシー
  - XML
  - Excel (xlsx)

---

## リソースグループ

---

### XML

すべてのリソースグループとそれに関連する情報を、XML形式でファイルに出力します。  
ファイルのフォーマットについては「[XML ファイル形式](#)」を参照してください。

---

## リソース

---

### XML

すべてのリソースとそれに関連する情報を、XML形式でファイルに出力します。  
ファイルのフォーマットについては「[XML ファイル形式](#)」を参照してください。

---

## サブジェクトグループ

---

### XML

すべてのサブジェクトグループとそれに関連する情報を、XML形式でファイルに出力します。  
ファイルのフォーマットについては「[XML ファイル形式](#)」を参照してください。

---

## ポリシー

---

### XML

すべてのポリシー情報を、XML形式でファイルに出力します。  
ファイルのフォーマットについては「[XML ファイル形式](#)」を参照してください。

---

### Excel (xlsx)



すべて、または、指定されたリソースの種類に登録されているポリシー情報、および、ポリシーに関連するリソースグループ・リソース・サブジェクトグループ情報を、Excel（xlsx）形式でファイルに出力します。

ファイルのフォーマットについては「[Excel（xlsx）形式](#)」を参照してください。

#### 項目

- インポートオプション
  - XMLのオプション
  - XMLのポリシー専用オプション
  - Excel (xlsx) のオプション
- エクスポートオプション
  - XMLのオプション
  - Excel (xlsx) のオプション

## インポートオプション

### XMLのオプション



#### コラム

この項で説明されているインポートオプションは、リソースグループ・リソース・サブジェクトグループ・ポリシーのすべてにおいて使用可能です。

名前	キー名	型	デフォルト値	導入バージョン										
エンコーディング	encoding	文字列	UTF-8	2012 Autumn										
ファイルパス	file	文字列	<table><tr><th>データの種 類</th><th>デフォルト値</th></tr><tr><td>リソースグ ループ</td><td>authz-resource- group.xml</td></tr><tr><td>リソース</td><td>authz- resource.xml</td></tr><tr><td>サブジェク トグループ</td><td>authz-subject- group.xml</td></tr><tr><td>ポリシー</td><td>authz- policy.xml</td></tr></table>	データの種 類	デフォルト値	リソースグ ループ	authz-resource- group.xml	リソース	authz- resource.xml	サブジェク トグループ	authz-subject- group.xml	ポリシー	authz- policy.xml	2012 Autumn
データの種 類	デフォルト値													
リソースグ ループ	authz-resource- group.xml													
リソース	authz- resource.xml													
サブジェク トグループ	authz-subject- group.xml													
ポリシー	authz- policy.xml													
コミット件数	commit- count	数値	0	2012 Autumn										
XML検証フラグ	validate-xml	真偽値	true	2012 Autumn										

### エンコーディング

キー名 encoding

インポートするXMLファイルの文字エンコーディングを指定します。

キー名 `file`

インポートするXMLファイルのパス（パブリックストレージのルートからの相対パス）を指定します。

## コミット件数

キー名 `commit-count`

インポート処理で、コミットを行うまでのデータ件数を指定します。

コミット件数に「0」（デフォルト値）が指定された場合は、インポート処理が完了するまでコミットが行われません。



### 注意

`commit-count` を指定した場合、インポート実行元で管理しているトランザクションがコミットされる可能性があります。

## XML検証フラグ

キー名 `validate-xml`

インポートするXMLファイルの構文を検証するかどうかを指定します。

指定する値	説明
<code>true</code>	XML構文の検証を行います。（デフォルト値）
<code>false</code>	XML構文の検証を行いません。

## XMLのポリシー専用オプション

名前	キー名	型	デフォルト値	導入バージョン
リソースグループ・リソース存在検証フラグ	<code>validate-resource-exists</code>	真偽値	true	2019 Summer

## リソースグループ・リソース存在検証フラグ

キー名 `validate-resource-exists`

インポートするXMLファイルに定義されたリソースグループ・リソースに関するデータが登録されているかどうかを検証します。

指定する値	説明
-------	----

指定する値	説明
true	リソースグループ・リソースの存在を検証します。（デフォルト値） 存在しないリソースグループ・リソースが定義されていた場合、エラー扱いとしてインポート処理を中断します。
false	リソースグループ・リソースの存在を検証しません。 存在しないリソースグループ・リソースに対してのポリシー設定は無視されます。

## Excel (xlsx) のオプション

名前	キー名	型	デフォルト値	導入バージョン
ファイルパス	file	文字列	authz.xml	2014 Summer
コミット件数	commit-count	数値	0	2014 Summer
未設定認可ポリシー検証フラグ	validate-inherits	真偽値	false	2014 Summer
リソースグループ・リソース存在検証フラグ	validate-resource-exists	真偽値	true	2014 Summer
サブジェクトグループ存在検証フラグ	validate-subject-exists	真偽値	false	2014 Summer

### ファイルパス

キー名 file

インポートするExcel (xlsx) ファイルのパス（パブリックストレージのルートからの相対パス）を指定します。

### コミット件数

キー名 commit-count

インポート処理で、コミットを行うまでのデータ件数を指定します。  
コミット件数に「0」（デフォルト値）が指定された場合は、インポート処理が完了するまでコミットが行われません。



#### 注意

commit-count を指定した場合、インポート実行元で管理しているトランザクションがコミットされる可能性があります。

### 未設定認可ポリシー検証フラグ

キー名 validate-inherits

インポートするExcel (xlsx) ファイルに定義されたポリシーのセルのうち「未設定」に指定されているエフェクトにおいて、親リソースを継承した結果が一致するかどうかを検証します。

指定する値	説明
true	継承した結果が一致するか検証します。 結果が一致しないセルが含まれる場合、エラー扱いとしてインポート処理を中断します。
false	継承した結果が一致するか検証しません。（デフォルト値） 結果が一致しないセルが含まれている場合でも、継承扱いとしてインポートします（無視されません）。

## リソースグループ・リソース存在検証フラグ

キー名 `validate-resource-exists`

インポートするExcel（xlsx）ファイルに定義されたリソースグループ・リソースに関するデータが登録されているかどうか検証します。

指定する値	説明
true	リソースグループ・リソースの存在を検証します。（デフォルト値） 存在しないリソースグループ・リソースが定義されていた場合、エラー扱いとしてインポート処理を中断します。
false	リソースグループ・リソースの存在を検証しません。 存在しないリソースグループ・リソースに対してのポリシー設定は無視されます。

## サブジェクトグループ存在検証フラグ

キー名 `validate-subject-exists`

インポートするExcel（xlsx）ファイルに定義されたサブジェクトグループに関するデータが登録されているかどうか検証します。

指定する値	説明
true	サブジェクトグループの存在を検証します。 存在しないサブジェクトグループが定義されていた場合、エラー扱いとしてインポート処理を中断します。
false	サブジェクトグループの存在を検証しません。（デフォルト値） 存在しないサブジェクトグループに対してのポリシー設定は無視されます。

## エクスポートオプション

### XMLのオプション



## コラム

この項で説明されているインポートオプションは、リソースグループ・リソース・サブジェクトグループ・ポリシーのすべてにおいて使用可能です。

名前	キー名	型	デフォルト値	導入バージョン
エンコーディング	encoding	文字列	UTF-8	2012 Autumn
ファイルパス	file	文字列	<div>データの種別</div> <div>デフォルト値</div> <div>リソースグループauthz-resource-group.xml</div> <div>リソースauthz-resource.xml</div> <div>サブジェクトグループauthz-subject-group.xml</div> <div>ポリシーauthz-policy.xml</div>	2012 Autumn
XML整形フラグ	format-xml	真偽値	false	2012 Autumn
ルートタグ名	root-tag-name	文字列	root	2012 Autumn
書き込み件数	flush-count	数値	5000	2012 Autumn

## エンコーディング

キー名 encoding

エクスポートするXMLファイルの文字エンコーディングを指定します。

## ファイルパス

キー名 file

エクスポートするXMLファイルのパス（パブリックストレージのルートからの相対パス）を指定します。

## XML整形フラグ

キー名 format-xml

エクスポートするXMLファイルを整形するかどうかを指定します。

指定する値	説明
true	XMLの整形を行います。
false	XMLの整形を行いません。（デフォルト値）

キー名 root-tag-name

エクスポートするXMLファイルのルートタグ名を指定します。

## 書き込み件数

キー名 flush-count

エクスポートするXMLファイルに一度に書き込むデータ件数を指定します。

## Excel (xlsx) のオプション

名前	キー名	型	デフォルト値	導入バージョン
ファイルパス	file	文字列	authz.xlsx	2014 Summer
ロケール	locale-id	文字列	ja	2014 Summer
リソースの種類	part-id	文字列	(空文字列)	2014 Summer
テンプレートファイル	template-file	文字列	products/im_authz_xlsx_import_export/authz_template.xlsx	2014 Summer
保護パスワード	xlsx-password	文字列	intramart	2014 Summer

## ファイルパス

キー名 file

エクスポートするExcel (xlsx) ファイルのパス（パブリックストレージのルートからの相対パス）を指定します。

## ロケール

キー名 locale-id

エクスポートするExcel (xlsx) ファイルに書き込むリソースグループ・リソース・サブジェクトグループの名称をどの言語で出力するか指定します。

キー名 part-id

---

エクスポートするExcel（xlsx）ファイルに書き込むリソースの種類を、設定IDで指定します。  
設定IDは、認可設定画面のタイトル部分に表示されます。  
指定しない場合、すべてのリソースの種類をシート別に分けて出力します。

## テンプレートファイル

キー名 template-file

---

エクスポートするExcel（xlsx）ファイルを作成するための、テンプレートファイルのパス（パブリックストレージのルートからの相対パス）を指定します。

## 保護パスワード

キー名 xlsx-password

---

エクスポートするExcel（xlsx）ファイルの変更不可部分を保護するパスワードを指定します。  
指定しない場合、保護パスワードはかからず行・列の追加・更新・削除が可能です。実際に行うとインポート時にエラーが発生する原因です。



項目

- ジョブスケジューラを利用する
  - ジョブ
    - インポート
      - リソースグループ
      - リソース
      - サブジェクトグループ
      - ポリシー - XML形式
      - ポリシー - Excel（xlsx）形式
    - エクスポート
      - リソースグループ
      - リソース
      - サブジェクトグループ
      - ポリシー - XML形式
      - ポリシー - Excel（xlsx）形式
  - ジョブネット
    - インポート
      - リソースグループ
      - リソース
      - サブジェクトグループ
      - ポリシー - XML形式
      - ポリシー - Excel（xlsx）形式
    - エクスポート
      - リソースグループ
      - リソース
      - サブジェクトグループ
      - ポリシー - XML形式
      - ポリシー - Excel（xlsx）形式
  - 認可設定画面を利用する

## ジョブスケジューラを利用する

---

ジョブスケジューラの機能を使用して、認可に関する情報のインポート・エクスポートを実行することができます。

ジョブスケジューラの詳細については「[ジョブスケジューラ仕様書](#)」を参照してください。

intra-mart Accel Platform では、リソースグループ・リソース・サブジェクトグループ・ポリシーのインポート・エクスポートを行うためのジョブ・ジョブネットを提供しています。

この項では、intra-mart Accel Platform が標準で提供しているジョブ・ジョブネットの情報を紹介します。

## ジョブ

---

## リソースグループ

ジョブカテゴリ テナントマスタ > インポート

ジョブID	authz-resource-group-import
-------	-----------------------------

ジョブ名	認可（リソースグループ）インポート
------	-------------------

## リソース

ジョブカテゴリ テナントマスタ > インポート

ジョブID	authz-resource-import
-------	-----------------------

ジョブ名	認可（リソース）インポート
------	---------------

## サブジェクトグループ

ジョブカテゴリ テナントマスタ > インポート

ジョブID	authz-subject-group-import
-------	----------------------------

ジョブ名	認可（サブジェクトおよびグループ）インポート
------	------------------------

## ポリシー - XML形式

ジョブカテゴリ テナントマスタ > インポート

ジョブID	authz-policy-import
-------	---------------------

ジョブ名	認可（ポリシー）インポート
------	---------------

ジョブカテゴリ テナントマスタ > インポート

ジョブID	authz-policy-sweeper
-------	----------------------

ジョブ名	認可（ポリシー）一括削除
------	--------------



### コラム

「認可（ポリシー）一括削除」ジョブは、「認可（ポリシー）置換インポート」で使用するためのジョブです。

## ポリシー - Excel（xlsx）形式

ジョブカテゴリ テナントマスタ > インポート  
(Excel)

ジョブID	authz-import-xlsx
-------	-------------------

ジョブ名	認可インポート（Excel）
------	----------------

## リソースグループ

ジョブカテゴリ テナントマスタ > エクスポート

ジョブID	authz-resource-group-export
-------	-----------------------------

ジョブ名	認可（リソースグループ）エクスポート
------	--------------------

## リソース

ジョブカテゴリ テナントマスタ > エクスポート

ジョブID	authz-resource-export
-------	-----------------------

ジョブ名	認可（リソース）エクスポート
------	----------------

## サブジェクトグループ

ジョブカテゴリ テナントマスタ > エクスポート

ジョブID	authz-subject-group-export
-------	----------------------------

ジョブ名	認可（サブジェクトおよびグループ）エクスポート
------	-------------------------

## ポリシー - XML形式

ジョブカテゴリ テナントマスタ > エクスポート

ジョブID	authz-policy-export
-------	---------------------

ジョブ名	認可（ポリシー）エクスポート
------	----------------

## ポリシー - Excel（xlsx）形式

ジョブカテゴリ テナントマスタ > エクスポート  
（Excel）

ジョブID	authz-export-xlsx
-------	-------------------

ジョブ名	認可エクスポート（Excel）
------	-----------------

## ジョブネット

### インポート

## リソースグループ

ジョブネットカテゴリ テナントマスタ > インポート

ジョブネットID	authz-resource-group-import-jobnet
ジョブネット名	認可（リソースグループ）インポート

## リソース

ジョブネットカテゴリ	テナントマスタ > インポート
ジョブネットID	authz-resource-import-jobnet
ジョブネット名	認可（リソース）インポート

## サブジェクトグループ

ジョブネットカテゴリ	テナントマスタ > インポート
ジョブネットID	authz-subject-group-import-jobnet
ジョブネット名	認可（サブジェクトおよびグループ）インポート

## ポリシー - XML形式

ジョブネットカテゴリ	テナントマスタ > インポート
ジョブネットID	authz-policy-import-jobnet
ジョブネット名	認可（ポリシー）インポート

ジョブネットカテゴリ	テナントマスタ > インポート
ジョブネットID	authz-policy-replace-import-jobnet
ジョブネット名	認可（ポリシー）置換インポート



### コラム

「認可（ポリシー）置換インポート」ジョブネットは、テナントに登録されているポリシーの全データをインポート対象のXML形式のファイル内容で完全に置き換えるためのジョブネットです。このジョブネットは「認可（ポリシー）一括削除」ジョブを実行後、「認可（ポリシー）インポート」ジョブを実行します。

## ポリシー - Excel（xlsx）形式

ジョブネットカテゴリ	テナントマスタ > インポート（Excel）
ジョブネットID	authz-import-xlsx-jobnet
ジョブネット名	認可インポート（Excel）

## エクスポート

## リソースグループ

ジョブネットカテゴリ テナントマスタ > エクスポート

ジョブネットID	authz-resource-group-export-jobnet
----------	------------------------------------

ジョブネット名	認可（リソースグループ）エクスポート
---------	--------------------

## リソース

ジョブネットカテゴリ テナントマスタ > エクスポート

ジョブネットID	authz-resource-export-jobnet
----------	------------------------------

ジョブネット名	認可（リソース）エクスポート
---------	----------------

## サブジェクトグループ

ジョブネットカテゴリ テナントマスタ > エクスポート

ジョブネットID	authz-subject-group-export-jobnet
----------	-----------------------------------

ジョブネット名	認可（サブジェクトおよびグループ）エクスポート
---------	-------------------------

## ポリシー - XML形式

ジョブネットカテゴリ テナントマスタ > エクスポート

ジョブネットID	authz-policy-export-jobnet
----------	----------------------------

ジョブネット名	認可（ポリシー）エクスポート
---------	----------------

## ポリシー - Excel（xlsx）形式

ジョブネットカテゴリ テナントマスタ > エクスポート（Excel）

ジョブネットID	authz-export-xlsx-jobnet
----------	--------------------------

ジョブネット名	認可エクスポート（Excel）
---------	-----------------

## 認可設定画面を利用する

テナント管理機能の認可設定画面から、認可に関する情報のインポート・エクスポートを実行することができます。

認可設定画面の詳細については「[テナント管理者操作ガイド - 認可を設定する](#)」を参照してください。

認可設定画面からインポートできるデータは、以下の通りです。

- ポリシー - Excel（xlsx）形式

認可設定画面からエクスポートできるデータは、以下の通りです。

- リソースグループ  
（パブリックストレージに保存）
- リソース  
（パブリックストレージに保存）

- サブジェクトグループ  
（パブリックストレージに保存）
- ポリシー - XML形式  
（パブリックストレージに保存）
- ポリシー - Excel（xlsx）形式  
（パブリックストレージに保存され、認可設定画面上からダウンロード可能）

項目

- [IM-Authz（認可）インポートデータ定義書](#)

## IM-Authz（認可）インポートデータ定義書

---

リソースグループ・リソース・サブジェクトグループ・ポリシーのインポート・エクスポートで利用するデータの  
詳細は、IM-Authz（認可）インポートデータ定義書として提供します。

IM-Authz（認可）インポートデータ定義書は、以下からダウンロードできます。

「[im\\_authz\\_import\\_export\\_definition.xls](#)」